

●株式会社プライド「研修コース(標準コース)一覧」

2026年6月  
株式会社プライド

No.	コース名称	級	期間	目的	定員	実施形態		備考 <sup>(*)</sup>
						対面	オンライン	
Ax-1	AxSEM <sup>®</sup> 概説コース	上級	半日	本講座では、企業の情報化を継続的に推進するための要点は「情報の再認識」であるとの仮説を掲げ、その賛否を問います。	12名	○	オンライン	
Ax-2	AxSEM <sup>®</sup> 概説&IC構築体感コース	上級	1日	本講座では、企業の情報化を継続的に推進するための要点は「情報の再認識」であるとの仮説を掲げ、体感演習(ディスカッション)に基づき具体策をお持ち帰りいただきます。	12名	○		
PM-1	プロジェクトマネジメント・コンセプトコース	中級	1日	プロジェクトマネジメントの「18のエッセンス」を理解する。プロジェクトのミッションを自ら規定し目標(Q・C・D)を設定することにより、「プロジェクトの成功率を確実に高める考え方(=エッセンス)」を理解する。	18名	○		[JUAS]
PM-2	プロジェクトマネジメント・演習コース	上級	2日間	プロジェクトマネジメントの「18のエッセンス」を応用し、プロジェクトの現場に適用する技法を習得する。問題が発生した場面を想定した総合演習への取り組みを通じて、実践する力を身に付ける。	18名	○		
PM-3	障害対応リーダー養成コース	上級	2日間	稼働中のシステムを保守している環境に於ける「障害対応プロジェクト」の場面を想定したプロジェクトのマネジメント方法を習得する、リーダー養成コース。ケーススタディを通じて保守フェーズ特有のプロセスを理解し、障害対応の各段階で必要となるプロジェクトマネジメントのポイント亲身体感・理解する。	18名	○		
PP-1	QFDによるソフトウェア品質統制コース	上級	2日間	品質管理の基本的な考え方である源流管理や重点品質に着眼したメリハリのある品質保証を実施するために、各工程でどのような品質管理を実施すべきか、またその状況の「見える化」をどう実現するかについて、エンジニアリング的なアプローチ方法を習得する。	18名	○		
PP-2	一括委託管理コース(発注編/受入編)	上級	2日間	【発注編】一括委託の全体像を理解し、一括委託する上で法務的に知っておくべき事項、計画立案、RFP作成と提案書評価の達成すべき事項と、それらのポイントを習得する。 【受入編】RFP要求事項を実現するための委託先工程の管理方法、受入方法について、工程毎に達成すべき事項とポイントを習得する。	18名	○		
PP-3	WBS作成の技術コース	中級	1日	“WBS”は単なるスケジュール表ではない。プロジェクトを“管理可能なものにする”ための基礎中の基礎である、“WBS作成のノウハウ”を体感・体得する。プロジェクトの範囲を見定め、成果と工程の両面からテラリングされた“WBS”を作成する技術を、その基本原理に立ち返って改めて胎に落とし、演習を通じて体得する。	20名	○	○	[JUAS]
T-1	提案型スキル養成コース	上級	2日間	顧客の立場に立ちつつも、自社の強みをアピールする提案を行うためのポイントを習得する。 そのためにまず、提案を行う上で基本的な考え方を理解し、提案を要求する側(顧客)の購買パターンやRFPの位置付けを把握する。そして、提案の流れの項目毎に検討すべきポイントや注意するポイントを習得する。	18名	○		
T-2	問題解決技法基礎&演習コース	初級	2日間	システムには目的があり、何らかの問題を解決するものである。そもそも問題とは何か? 事実に基づき問題点を抽出して真因を見つけ出し、解決策立案から提案に至るまでのポイントを習得する。	18名	○		
T-3	討議型問題解決コース	中級	2日間	そもそも問題とは何か? 事実に基づき問題点を抽出して真因を見つけ出し、目的を意識した解決策の立案から実現スケジュールへの展開を、討議参加型の演習を通じて習得する。	12名	○		
T-4	ビジネス交渉力強化コース	中級	1日	ITビジネスの現場における交渉は、才能を持った一部の人間だけの仕事では済まない。 誰もが一定の成果を上げることが期待される“交渉”について全体像を理解し、Win-Winの成果を得るための基礎を体得する。	18名	○		
T-5	図表化技法実践コース	初級	1日	新システムに関する理解を促す立場の方々、日々現場で苦労している。あるいは運用開始後のシステムについて短時間でその全貌と構造を理解しなければならない方にとっても、頼りになるのは「文書」だけである。 本講座では、見えない・触れないシステムを、より正確に表現するための「文書作成の技術」を「図解表現」に着目して解説し、また、いくつかの演習を通じて身に付ける。	25名	○	○	[JUAS]

(\*)：・研修場所、必要機器・備品についてはお客様にてご用意下さい。  
・[JUAS]と記載のあるコースについては、一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会様主催の講座設定があります。  
・「AxSEM<sup>®</sup>」は、株式会社プライドの登録商標です。

●株式会社プライド「研修コース(標準コース)一覧」

2026年6月  
株式会社プライド

No.	コース名称	級	期間	目的	定員	実施形態		備考 <sup>(*)</sup>
						対面	オンライン	
T-6	現場で使えるファシリテーション・スキルコース	中級	2日間	ビジネスの現場において、どんな場面でも有効に活用できるファシリテーションスキルを身に付ける事で、自社を代表して結論に導くことのできるファシリテーターとなる。	20名	○	○	
T-7	ビジネスプロセスモデリングコース	上級	2日間	上流工程では、ビジネスモデルをプロセスの観点で捉え、モデル化することが必須である。ビジネスの現状を可視化し、また、あるべき姿をシミュレーションするためのプロセスモデリング技法を、チーム演習を通じて習得する。	18名	○		
T-8	データモデリング・ベーシックコース	中級	1日	システム開発においては、ビジネスの要求を満たす「情報」とその構成要素である「データ」を明確に区別しつつ、明らかにする必要がある。業務の視点でデータの意味を捉え、ビジネスに必要なデータ設計の基礎的スキルを習得する。	18名	○		
T-9	データモデリング・アドバンスコース	上級	2日間	データモデリングの基礎を踏まえて、情報をデザインし、データベース設計を実践する上での留意点、陥りやすい問題などを、演習を通して習得する。	18名	○		
T-10	これからのデータ活用の原理原則～人とITの共創に向けて～コース	中級	1日	データ活用が進まない。市場や社会の変化に対応する人や組織の創発的な行動にデータを活かすために、人とデータ(IT)の関係を原理的に見直し、経営のアジリティに貢献するための「データ活用のポイント」を理解する。	18名	○		[JUAS]
T-11	データ活用基盤構築スキル獲得コース	上級	3日間	組織が蓄積した多様なデータを効果的に活用できる基盤を構築し、ビジネス価値の最大化を目指す。データ活用基盤に必要な要素や設計を明確化し、具体的なアクションプランを策定する。目指すべき基盤の姿について部門間で共通認識を形成し、効率的な連携を実現する。	18名	○		
T-12	システムテストの進め方コース	中級	1日	リリース直前に実施する一連のテストでは、上流工程でユーザーが提示する要件は、構造的に分解して可視化することが難しい、テスト工程の後半に至るまで、上流工程の要件を正確に継承することが困難である、といった、“システムテスト～リリース判定段階固有の難しさ”がある。本講座は、上記の課題に対応した“システムテスト”の実践的な方法を解説する。	18名	○		[JUAS]

- (\*)：・研修場所、必要機器・備品についてはお客様にてご用意下さい。  
 ・[JUAS]と記載のあるコースについては、一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会様主催の講座設定があります。  
 ・「AxSEM<sup>®</sup>」は、株式会社プライドの登録商標です。

プライド社研修コースのお問い合わせは、以下までお願いします。

株式会社プライド 研修担当 秦 貴志(はだ たかし)  
 TEL : 03-6770-5431  
 Mail : t-hada@naska.co.jp